



低炭素アジア研究ネットワーク (LoCARNet)

LoCARNet イスカンダル・マレーシア宣言

アジアからの積極的な行動—COP21 とそれ以降に向けて

気候変動は現実の問題であり、近年その影響を実感することが増えている。気候変動に取り組むことはもはや選択肢ではない。今こそ行動を起こす時であり、地球上の全ての人々が貢献する必要がある。世界人口の半数以上が居住しているアジアは、急速に都市化が進み、世界で最も急激な経済成長を遂げている。従って、気候の安定化にはアジアの積極的な行動が不可欠である。2020年に向けて、またそれ以降も、世界的な気候変動の緩和・適応行動を実効性のあるものにするには、アジアが参加することが必須条件である。

ジョホール州イスカンダル・マレーシアで開催された低炭素アジアに関する国際会議

(International Conference on Low Carbon Asia) およびLoCARNet第4回年次会合において、我々出席者は、以下のイスカンダル・マレーシア宣言を発表することに合意した。

1. 世界的・地域的な気候変動の緩和策および適応策において、持続可能な発展のための**アジアの知恵**がその成功の支えになる可能性がある。アジアの知恵が持つ全体的かつ極めて長期的な視野に立った世界観や、調和とバランスを大切にし、「モッタイナイ (儉約)」、「ゴトン・ヨロン (相互扶助)」、充足経済哲学 (SEP) および皆の利益を尊重する精神が、気候安定化の目標および行動に関する国際合意を形成し、そのための取り組みを推進・運用していく上で効果的な枠組みをもたらすと期待される。
2. アジア諸国は、**グリーン成長**を目指すことで持続可能な低炭素経済への転換を加速させる必要があり、気候変動の緩和・適応行動によってアジアの経済成長に新たな機会と可能性が生まれることを重視すべきである。
3. 低炭素社会 (LCS) および低炭素経済への移行は、常に人間を中心に捉えて進めなければならない。多様性に富む人々が暮らすアジアでは、各国の経済的・社会文化的・技術的能力に応じ、人々が自ら決断して積極的な気候安定化行動をとれるような、**包括的**で促進的な気候政策をとることが極めて重要である。

4. アジア諸国は引き続き、**都市、人間の居住地、自然環境**を含む陸上生態系を保護・保全し、その持続可能な利用を推進すると共に（REDD+を通じた持続可能な森林管理、砂漠化対策；土地劣化の阻止・改善；生物多様性喪失の阻止）、海・大洋および海洋資源の持続可能な利用も確保する。
5. 「サイエンス・トゥー・アクション（S2A）」は、効果的な気候政策と**低炭素ガバナンス**に不可欠な要素であり、気候政策が科学的根拠に基づいて策定されるだけでなく、実施可能なものであることを確保する役割を果たす。アジアは今後も、強固で積極的な研究ネットワーク、並びに研究者および国・地方自治体政策担当者から成るコミュニティを推進し、持続可能な低炭素社会を目指した低炭素移行を先導する実施機関を強化するための努力を継続する。
6. アジア諸国の具体的な貢献なしに世界的な気候安定化目標を達成することはできないが、一方で、アジア諸国が低炭素社会に移行するには先進国からの様々な形・レベルの支援が必要である。能力開発、相互学習、技術移転、技術支援および資金援助において、南北協力および南々北協力という形で世界的・地域的な**スマート・パートナーシップ**を構築することが、気候変動に強じんな低炭素社会への移行を実現し、同時に地球の平均表面温度の上昇を産業革命前と比べて1.5° から2° Cに抑えるという目標を達成するためのカギとなる。

国際社会には、世界の気候変動に対する実質的かつ積極的な緩和・適応行動を先送りする余裕はまったくない。そしてアジアにはそのための貢献を果たす用意がある。

アジアは、気候変動に関するパリ協定によって、世界的な気候変動緩和・適応への実質的な貢献を目指す各国の能力と潜在力を考慮し支援する、包括的で促進的な枠組みが構築され、最終的に望ましい成果が得られると期待している。

2015年10月13日

低炭素アジア研究ネットワーク（LoCARNet）¹

¹ http://lcs-rnet.org/about_locarnet/